

“ちいさな企業” 成長本部（富山県高岡市）
議事概要

中小企業庁

- ・ 日時：平成25年9月18日（水） 15：45～18：00
- ・ 場所：富山県高岡市（ホテルニューオータニ高岡）
- ・ 「“ちいさな企業” 成長本部」行動計画等に関する取組をご紹介いただくとともに、意見交換を行った。
- ・ 参加者からの主なご意見は以下のとおり。

＜中小企業・小規模事業者＞

- どんな補助金があるか分からなく、また申請も少し難しい。分かりやすくして欲しいし、説明の機会などがあると良い。
- 伝統産業は地元理解が薄いので、子どもたちが伝書鳩のようになってくれれば、との思いで1年間に2000人もの子どもたちを招いている。
- 海外展開は敷居が高い部分が多い。具体的には、JETROは海外の出展の申請書類は英語で提出して欲しいと言う。足下をみた、中小企業が海外展開しやすい環境作りをお願いしたい。
- 新規性のみならず品質の保証・信頼性を試験するところも支援して欲しい。ユーザーの規模が大きくなるほど、よりよいものを求められ、ユーザーからの監査・認可を経て、そこから事業化するまでの体力がない。
- 補助金をもらったが事業が終わってからの後払いのため、12月の決算が厳しい。
- 海外展開を進めたいが知財の分野が不安なので、商標登録の助成をお願いしたい。
- JETROの輸出有望案件発掘支援事業で2年間専門家派遣をしてもらったが、いざ海外展開する際には飛行機、ホテルは自分でとらなければならない、そういう面も支援してくれると助かる。
- 井波彫刻の職人をぜひ救ってほしい。全国から修行に来ているが、仕事がない

ため独立ができない。販路拡大が一番大きな問題。職人は売ることが苦手なので、販路拡大の支援を行って欲しい。

- 海外だとタイムリーな交渉、予期せぬ商談に語学不足、知識不足で対応できない。
- 海外のアンテナショップはなかなか販路が広がらない。現地の有力者を知らなければ広がっていかない。

<支援機関>

- 金融機関は預金・貸付がメインだと思われがちだが、事業計画の策定までお手伝いしていたり、創業スクールを行って半年後にフォローアップ、個別の経営相談会など様々な取組を行っている。また、大学教員による事業承継セミナーを開催している。
- 他の支援機関との連携、市役所、中小機構、商工会等と施策情報を共有し、協力体制をとっている。連携の強化による支援機関の質の向上や、商工会議所の指導を受けながら事業計画を策定する等のOJT、行員の中小企業診断士の取得の推進を行うことでの人材育成を進めている。
- 県で「創業塾」として、半年間じっくりビジネスプランをつくりあげるプログラムを行っている。卒塾後も著名な専門家によるフォローアップを行っている。
- 基礎的なところを担う商工会では、昨今の高度化する経営課題への対応が難しくなっている。その中で、商工会としては、税理士、金融機関等の高度な知識を持っている支援機関へとつなぐ役割を果たしていきたい。



以上